

令和5年度ADCAセミナー

「国際協力という選択」開発コンサルタントの醍醐味」

一、ADCAセミナーの開催

一般社団法人海外農業開発コンサルタント協会（ADCA）は、令和6年2月3日（土）午後1時半から、都内会議室（TKP市ヶ谷）にて令和5年度ADCAセミナー「国際協力という選択」開発コンサルタントの醍醐味」を開催した。



写真1 宮崎氏によるODAの概要説明

当協会はこれまで、関係の深い大学の協力を得て主に大学生を対象に海外事業を行う会員コンサルタントの活動を紹介するADCAセミナーを開催し、未来のグローバル人材に対して我が国のODAにおける農業農村開発協力の重要性和魅力を伝えてきた。

今年度で13回目となるADCAセミナーは、4年ぶりに会場での開催が可能となり、対面とオンラインのハイブリッド形式で開催し、全国から学生やODA関係者等、合計59名が当セミナーに参加した。久野格彦副会長による開会挨拶後、宮崎雅夫参議院議員がコーディネータを務め、会員企業（株三祐コンサルタント、NTCインターナショナル（株）、日本工営（株）より、海外経験が5年以下の若手技術者4名がパネリストとして参加した（写真1、2）。

二、パネルディスカッション

第1部のパネルディスカッションでは、国際協力に関するアンケートを各社の若手技術者から事前に収集し、そのアンケート結果を踏まえ、各パネリストが海外出張での成功談や失敗談、初めての海外業務に関するエピソードを語った。パネリストは現地関係者との交流や現地での食事や文化の楽しみ方等、海外出張



写真3 ブータン王国との中継

の魅力や学生に伝えた。また、ブータン王国に出張中のパネリストとオンライン中継し、現地の風景を見せながら出張先での生活について説明した。宮崎氏は大使館書記官やJICA専門家時代の自身の体験エピソードを交えながらパネリストと対談し、農業農村開発協力の魅力を学生に伝えた（写真3、4）。



熊谷 徹
一般社団法人海外農業開発コンサルタント協会
企画部長



佐々木 実
一般社団法人海外農業開発コンサルタント協会
主任技師

三、グループワーク

第2部のグループワークでは、現在直面している開発途上国での課題について、学生同士で話し合い、解



写真5 グループワークの様子



写真4 宮崎氏とパネリストによる対談

四、ケータリング

決策を考えてもらった。学生は現地の写真を観察し、開発コンサルタントが取り組むべきことは何かを考え、宮崎氏やコンサルタント関係者のアドバイスを受けながら議論を展開し、各グループでアイデアを取りまとめ、発表した(写真5、6)。

第3部のケータリングでは、来場参加者にアフリカ料理(プレヤツサ、ムシカキ等)、及び東南アジア料理(バインミー等)を提供し、ケータリング業者(Vamos)より、各地の料理を紹介していただいた。会食を通じ、国際協力関係者と学生との交流を深め、セミナーは大盛況のうちに終えた(写真7、8)。



写真6 参加者にアドバイスを送る宮崎氏

五、まとめ

今年度のADCAセミナーは、農業農村工学分野の学生だけでなく、



写真8 アフリカ・東南アジアの料理



写真7 各地の料理の紹介

農業ソフト系や文系の学生、社会人、大学教員等の様々な分野の方にご参加いただいた。事後アンケートでは、「コンサルタント関係者や他大学・他分野の学生と交流ができた。」「セミナーを通じて開発コンサルタントの業務内容について理解し、興味を持つことができた。自分も開発コンサルタントとしてやりがいのある業務をしたい。」といったコメントを多くいただき、パネルディスカッションやグループワークを通じて農業開発の魅力を感じてもらったことができた。当協会は今後も引き続き、海外農業農村開発に関心のある学生や若い世代に国際協力に携わることの魅力を感じてもらえるよう、尽力していきたい。

今回のADCAセミナーの開催にあたりご協力いただいた大学関係者、農林水産省、農業農村工学会、JICA、そして、海外技術協力に係る豊富な知識と経験を駆使して本セミナーを成功に導いていただいた宮崎参議院議員に心より感謝申し上げます。

(2024年4月受稿)